

民生費:105,892円



児童、障害者、高齢者などの福祉のために

衛生費:38,195円



ごみ、し尿の処理や生活環境を守るために

消防費:12,226円



火災や救急活動などに

商工費:6,898円



商工業の振興に

総務費:51,809円



行政の運営に

土木費:41,420円



道路や公園、港湾の整備などに

教育費:38,269円



学校などの施設整備や教育の振興に

公債費:35,452円



市債の返済に
(11ページの財政Q&Aをご覧ください。)

農林水産業費:7,729円



農林水産業の振興と育成に

予備費:454円

予期せぬ事態に

その他:455円

合計
344,288円

市民一人当たりの経費は?

市では、市の財政状況を毎年五月と十一月に公表しますが、今年度は合併の関係で八月に公表します。

財政課 ☎8803

平成17年度財政状況をお知らせします

新しい丸亀市の実質的なスタートとなる平成十七年度予算は、合併による節減効果はあるものの、市の財政状況が依然として厳しいことにより、地方交付税などの減少により不足する財源を経常経費のさらなる削減によりねん出し、市民サービスをできる限り低下させないよう取り組んでい

ます。平成十七年度予算は、広報七月号や市ホームページに掲載しています。今回は、別の角度から見た合併後初めての予算についてお知らせします。平成十七年度の予算総額は、三百七十八億八千万円ですが、これを市民一人当たりで換算すると、約三十四万円になります。内訳で最も多いのは、民生費で、老人医療、生活保護などの社会保障関係の経費はさらに増加傾向にあります。

議会費:3,284円



市議会の運営に

労働費:2,205円



働く機会を確保するために

職場紹介 ⑤ こんにちは! 財政課 です



財政課スタッフ(市役所別館3階)

財政課は、市の予算や決算などに関する業務を行っています。

〈財政構造改革〉

平成17年度予算は、市税の減収などにより多額の財源不足が発生する中、市の貯金(基金)を引き出し編成することができました。

しかし、一般会計所管の基金残高は、平成17年5月末現在高で約49億円ですが、このままでは平成17年度末残高見込みは約22億円に減少し、来年度以降の財政運営は、かつてない厳しさを伴うものとなります。

このため市では、この直面する財政危機を乗り切るため人件費の削減を柱とする財政構造改革を推進します。



宮川課長からひとこと

市民のみなさんのご理解とご協力の下、持続可能な財政構造の再編に取り組んでいきます。

TEL: ☎8803 FAX: ☎8874
e-mail: zaisei-k@city.marugame.lg.jp

財政Q&A 市債ってなあに?

Q 市債について教えてください。

A 市債とは、市の借金のことです。通常、市が事業を行う場合、国・県補助金、市税などをその財源としますが、学校やこみ処理施設などの建設の際は、短期的に多くの資金が必要となることから、借金をして事業を行うこととなります。このような市民のみなさんが長期間にわたって使用する施設は、建設したときの市民だけがすべて負担

するのではなく、「分割払い」にすることで、将来利用する市民にも負担してもらおう「世代間負担の公平」化を図っています。

たとえば、昨年度建設された城乾小学校体育館は、二億五千五百六十万円の市債を活用しています。市は、今後、二十五年間で返済していきます。

Q 借金が増えると、将来の負担が重くなりませんか?

A 市債を活用することで、市

民の生活に役立つ各種の社会資本を計画的に整備することができ、毎年決まった元金と利息を必ず返済しなければなりません。

市債の増加は、将来の住民の負担増につながるとともに、財政構造の硬直化を招く大きな要因となりますので、計画的に返済していくことを十分念頭に置いて財政運営を行う必要があります。

平成十六年度末現在の市債残高は、一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせると約五百

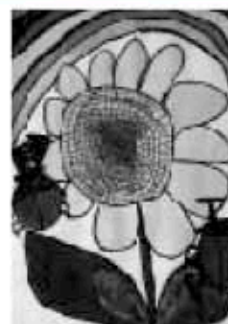
八十二億円です。これを市民一人当たりで換算すると約五十三万円となります。



城乾小学校体育館



▲城東小5歳児 三原 結衣



▲城東小5歳児 平田 結愛



▲城東小6年 立岡 光輝



▲城山南小6年 竹田つぐみ

